



学校だより

唐津市立加唐小中学校

第2号

令和2年4月20日発行

文責 校長 宮地 浩幸

歓迎遠足！！

4月9日（木）10時15分に校舎前で、出発式をまず行いました。この出発式や帰着後の会の持ち方については前日（4月8日）のゆうき会（児童・生徒会）で6名の全校生徒で十分に話し合いを行ってきちんと準備ができていました。その予定通りに子どもたち中心で会が運営されたことに大変感心させられました。

遠足は、佐賀県の最北端に位置するカリオ灯台まで、2時間ほどの行程でした。島に初めて赴任した職員も少なくなく、好天に恵まれたこともあり、子どもたちと一緒にこの遠足を満喫することができました。その中で、気づいたことは、島の美しさです。島に生息する生物たちの美しさに加え、行程のところどころから海を見た時の絶景は圧巻です。この美しい島に育った子どもたちにはぜひ郷土を愛し、この島を守って行ってほしいと感じました。また、加唐小中学校で学ぶ子どもたちは、友達とか先輩後輩を超えて家族のような関係です。1つの例として、小学1年生には今回の遠足で坂も多く、少しきつかったようですが、それを中学3年生がフォローしてくれました。さらに、昼休み子どもたちがカリオ灯台の広場で遊んでいる姿を見るとかわいい2人の弟たちを4人の姉さんたちが御世話をしているようで非常に微笑ましい雰囲気でした。

遠足の後半は大泊漁港から海へクルージングに行きました。この体験は、天気が良いこともあって、テーマパークのアトラクションなどとは異なり、本当に各自の感性にしみいるような体験で、そのダイナミックさは本物でした。このような島ならではの体験活動は子どもたちの人生に大きな影響を与えてくれると期待します。



合同スピーチ（テレビ会議システム）

加唐小学校、小川小学校、高島小学校での、テレビ会議システムを使って、合同スピーチ会がスタートしました。第1回目（4/15）は、三つの小学校で職員、児童それぞれが自己紹介を行いました。本年度初めてということもあり、みんな緊張した様子でした。最近ではICTが発達して、教育の質も変化してきました。島通しを結ぶコミュニケーションの機会は、子どもたちの資質能力に大きく影響を及ぼすものと期待しています。これを機会と

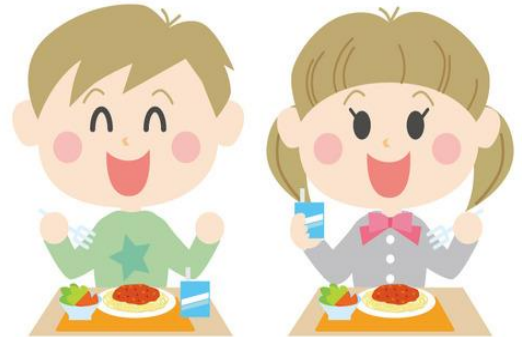


して、将来は島を離れた時に大人数の前でものおじすることなく堂々と自分の意見を述べ、社会に貢献できるリーダーを育成していきたいものです。

給食がおいしいです！

自校で給食がつけられているため、出来立てを子どもたちは食することができます。また、給食調理員さんの努力もあって、毎日暖かく非常においしい給食をいただいています。給食の時間は、児童生徒と職員、それに校医の池内先生がランチルームで小グループに分かれて、給食を摂ります。

毎日子供たちが食べる様子を見に行きますが、みんな美味しくいただいています。食は生活の基本です。午後の授業を頑張るエネルギー源を十分に蓄えて、午後の授業に臨みます。私たちの健康を支えていただいている給食調理員さんに感謝するばかりです。



4/14 合同朝会での校長の話

4月14日合同朝会を行いました。私はずっと中学校で教鞭をとっていましたが小学生に向かって話をした経験が少なく、子どもたちに上手く話しが伝わるか心配していました。私が話したのは次のような内容です。

世の中では、新型コロナウイルスの感染拡大が止まりません。このような、世界的な伝染病の感染は数百年に一度くらいの割合で起こっています。100年前にスペイン風邪（インフルエンザ）によって、多くの人がなくなりました。この新型コロナウイルスもその終息がなかなか見えずに、みんな困っています。私たちは、島で生活していますので、人の出入りは都会ほど多くありません。多くの人たちが接することでウィルスの感染は起こります。だから、今回の感染拡大の影響は少ないと考えられますが、島にも人の出入りはあります。つまり、ウィルスが島にやってくる可能性は0ではありません。今ウィルスの感染予防には3つの密がないようにと言われます。密集、密接、密閉です。それに加え、マスク着用、うがい、手洗いを励行することです。決して油断することなく、新型コロナウイルスを終息させるために一人ひとり何ができるか考えて行動しましょう。

日本人は、世界的に見て規律正しい国です。だから、東日本大震災の時も盗難の発生率が低かったり、テーマパークに行ききちんと時間を待つので長蛇の列ができます。また、サッカーのワールドカップの時には、試合終了後スタジアムできれいにゴミ拾いをする日本人のマナーが世界的に称賛されました。

つまり、全体の事を考えて、自分の行動を律することができるというのが日本人の美德だと思います。先日の歓迎遠足で、皆さんがファミリーのような存在だと言いました。互いのことを思いやり優しい行動をとることができました。情報技術が発達して、私たちの周りでもどのようなことが起こっているかすぐわかるようになりました。世の中のことを自分のことにとらえなおして、行動できる広い視野を持てるようにしましょう。